

デジタル化に伴い町内の小・中学校の課題は 野口守隆

教育長 町内小・中学校教員のICT(情報通信技術)活用能力の向上



紙の教科書とデジタル教科書の長所と短所は、紙の教科書の長所は、デジタル教科書に比べ、掲載されている情報量が精選されているため、その情報量の中で集中して深く学べ、また、机上で教科書や資料

等と同時に見渡し、相互の関係性を理解できるなど、俯瞰性に優れている。一方、デジタル教科書の長所は、情報量が豊富であり、図表の拡大、縮小や動画再生なども可能である。また、音声機能による音読

や文字色の変更など、特別な支援が必要な児童生徒に対して個々の対応が可能となる。両教科書の長所は、互いの短所を補完している関係となっている。

一つ目の課題は、本町小・中学校教員のICT活用能力の向上である。現在、各小・中学校にICT支援員を派遣し、研修を重ねている。二つ目の課題は、これまでの教育実践とICTを活用した教育のベストミックスへの模索である。それぞれが持ち合わせている長所を組み合わせて、子供たちに望ましい教育環境を提供することが大切だと考えている。



町内全ての児童生徒に配備されたパソコン端末(タブレット) ときがわ町議会だより



ケアラー支援についてーケアラーの心身の負担軽減のためにー 小島利枝



埼玉県では、全国初の「ケアラー支援条例」が令和2年3月31日に施行した。町のケアラーの現状は、

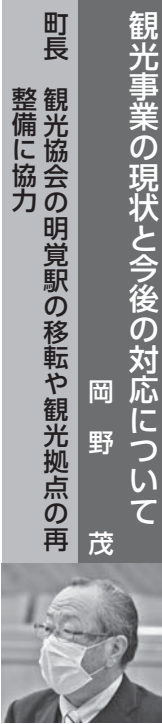
らい介護や看護を行っているかなどの具体的な状況は現時点では把握していない。

ヤングケアラーの実態は様々で、年齢や成長の度合いに見合わない過重負担によって心身に疲弊し、学業や進路に影響を及ぼす。子どもの身近にいる教育現場の理解と知識を深める機

会を考えているか。ヤングケアラーに関する認識を学校側とも共有していく。

※ケアラーとは、高齢、身体上、精神上的の障害又は疾病等により援助を必要とする人に対して、無償で介護、看護、日常生活上の世話等を行っている人。18歳未満をヤングケアラーという。

観光事業の現状と今後の対応について 岡野茂



町長 観光協会の明覚駅の移転や観光拠点の再整備に協力

観光推進室を新設したが、活動内容と成果は、

川内内の愛宕山の整備などに着手した。コロナ禍で落ち込んだ消費の喚起を行うため、「地域商品券」の発行業務を実施し、令和3年度から観光協会の事務所を明覚駅舎内に移転することから、駅前の賑わい

創出や、レンタサイクル事業の推進、観光拠点の再整備などの取り組みに協力している。

昨年、里山再生基金条例が制定されたが、活動内容と成果は、



整備された水辺の散歩道



パートナーシップの認証制度の導入を 神山俊



パートナーシップの認証制度の導入を。

生のパートナーとして公的に認める制度である。これには婚姻や相続関係等の法的な効力は生じないが、自治体などがその関係を尊重することに意義があると考

ころ導入していないが、制度の内容や近隣市町村の状況を参考にしながら、研究していきたい。

パートナーシップ制度は、性的指向や性自認における性的少数派のカップルが、家族としてより暮らしやすくなるように、自治体などがその二人の関係を人

当町においては現在のところ

イベントや行事等に支援を 手指消毒用アルコールやサーマルカメラ等の貸し

出し、補助金等の増額は出来ないのか。消毒液については、その主催者側での準備をお願いしている。サーマルカメラ等については、非接触型体温計の貸し出しの準備をしている。補助金等の増額はアフターコロナ対策を見据え、どのような支援対策が必要か、ワクチン接種の状況など総合的に判断して検討していく。